

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-150864

(43)Date of publication of application : 05.06.2001

(51)Int.Cl.

B43K 7/02

B43K 5/02

B43K 7/00

B43K 8/02

(21)Application number : 11-339181

(71)Applicant : PENTEL CORP

(22)Date of filing : 30.11.1999

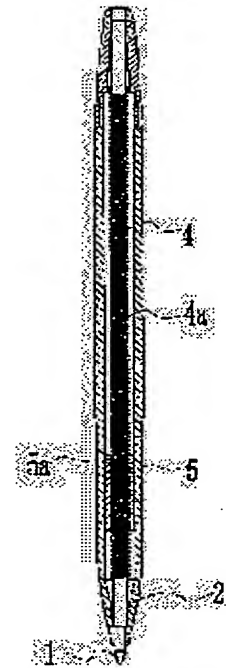
(72)Inventor : MUNAKATA TETSUYA

## (54) WRITING UTENSIL

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a writing utensil, the favorable usage feeling of which can be easily obtained by a method wherein the center of gravity of the writing utensil can be shifted in response to the liking of a writer.

**SOLUTION:** Within the outer covering body of the writing utensil, a weight member movably back and forth is arranged in spiral engagement.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

**BEST AVAILABLE COPY**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-150864

(P2001-150864A)

(43) 公開日 平成13年6月5日(2001.6.5)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード <sup>*</sup> (参考)
B 4 3 K	7/02	B 4 3 K	5/02
	5/02		7/00
	7/00		7/02
	8/02		8/02
			A
			Z

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平11-339181

(22) 出願日 平成11年11月30日(1999.11.30)

(71) 出願人 000005511

べんてる株式会社

東京都中央区日本橋小網町7番2号

(72) 発明者 宗形 哲也

茨城県新治郡玉里村上玉里2239-1 べん

てる株式会社茨城工場内

Fターム(参考) 2C350 GA02 GA03 GA04 KC03 KF00

KF03 NA00 NA23 NC01 NC04

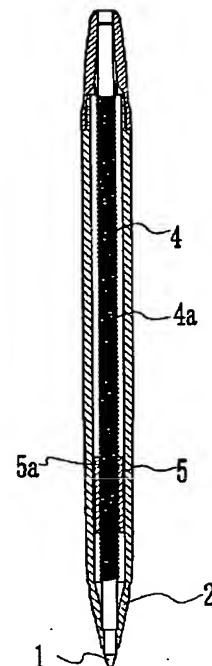
NC11 NC21

(54) 【発明の名称】 筆記具

(57) 【要約】

【課題】 筆記者の好みに応じて筆記具の重心を移動でき、好ましい使用感を容易に得ることができる筆記具を提供する。

【解決手段】 外装体内に螺旋関係に係合して前後動可能な錘部材を配置した筆記具。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 外装体内に長手方向に移動して適宜位置に固定可能な鍾部材を配してなる筆記具。

【請求項2】 前記鍾部材が、インキ収容管の外壁に形成した螺旋部に螺合関係で前後移動可能に連結する内螺旋部を有するリング状部材であることを特徴とする請求項1記載の筆記具。

【請求項3】 前記外装体に、外壁に螺旋部が形成された外装体内への延在部を有する操作体を、外装体に対して周方向に回転可能に接続し、前記鍾部材を、内壁に前記延在部にの螺旋部に対して螺合関係で前後動可能に連結する内螺旋部を有するリング状部材とすると共に、外装体の内壁に形成した長手方向に延在するレール部に係合する羽部を有し、前記操作体を外装体に対して周方向に回転させることにより前記鍾部材を前後動させてなる請求項1記載の筆記具。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、手で把持して、紙面などの被筆記面に対して筆記、描画、塗布などする筆記具に関し、筆記の際の使用感を良好ならしめたものに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、手に把持して使用する筆記具は、種々の重さのものがあり、各筆記具において重心の位置も異なる。このような筆記具の使用感は、筆記具の重心位置や使用者の握り方、握り位置に影響するものと考えられ、使用者はそれぞれ好みの使用感を得るために筆記具の握り位置を変えるなどしているのが実状である。また、好みの使用感を得るために握り部となるグリップ部材が軸筒長手方向に移動可能であり、好みの握り位置にて使用できる筆記具も知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来の握り部の位置が変化しない筆記具では、重心の位置が固定されているため、良好な筆記感を得るために使用者が握り位置や握り方を変えなくてはならないという煩わしさがあり、使用感が最良のもの足り得ない点もあった。また、握り部が移可能である筆記具では外觀のデザインに大きく影響するものであった。

【0004】

【課題を解決するための手段】即ち、本発明は、外装体内に長手方向に移動して適宜位置に固定可能な鍾部材を配してなる筆記具を要旨とする。

【0005】

【実施例】以下、図面に基き一例について説明する。図1に示したものは、リフィル内蔵型のボールペンの一例である。先端孔よりリフィルのペン先1を一部突出する外装体2の後端には尾栓3が螺着されている。リフィルは、ポリプロピレン、ポリエチレン等の樹脂製もしくは

ステンレス、真鍮等の金属製パイプ体をインキ収容管4の先端にペン先1を接続したものであり、インキ収容管4の後端を尾栓3の底部に当接させている。

【0006】インキ収容管4の外壁には雄螺旋部4aが形成されており、その雄螺旋部4aには雌螺旋部5aを有するステンレス製のリング状部材5が螺合関係で連結している。リング状部材5を回転することでインキ収容管4の外壁上を移動でき、使用者がリング状部材5の位置を適宜変えてリフィルを外装体内に装着させることで筆記具自体の重心位置を変えられ、人それぞれ好みの筆記感を得られる。

【0007】図2に他の一例を示す。基本的には雌螺旋部5aを有するリング状部材5を使用している点では上述の例と同様であるが、このリング状部材5'が螺合する部材は、尾栓3'としてある。即ち、尾栓3'は、雄螺旋部3'aを形成した外装体2の内部への延在部3'bを有しており、この延在部3'bに前記リング状部材が前後動可能に螺合している。ここで、外装体2の内壁に長手方向に延在する溝2aを形成し、これに対してリング状部材5'には、この溝2aに摺動可能に係合する羽部5'bを形成している。尾栓3'は、乗り越え嵌合により外装体2に対して周方向に回転可能に接続されており、尾栓を周方向に回転させると前記リング状部材5'が、溝2aに沿って前後に移動可能となっている。

【0008】図3には更に他の一例を示す。尾栓の代わりに、先金6に延在部6aを形成したものであり、先金を外装体に対して周方向に回転させることによりリング状部材5'を前後に移動することができる。

【0009】以上の他にも本発明の要旨を逸脱しない限りで種々なせるものである。一例を挙げると、ペン先としてボールペンチップを図示してあるがアクリル繊維やポリエステル繊維等の繊維収束体製ペン先や、小管内に摺動自在に針体を配置した小管式ペン先、インキ通路を有する合成樹脂製押出成形物を使用した合成樹脂製ペン先等が使用でき、ペン先へのインキ供給機構としては繊維や金属製のインキ中継芯を使用したものや、インキ中継芯を縦断面櫛歯状の一時的インキ溜め部を有する一時的インキ溜め部材を有するものや、操作によりインキ通路を開閉する弁機構を有するものなども使用できる。筆記具のタイプとしては出沒式筆記具でも良い。また、リング状部材の材質としては、真鍮、アルミニウム等の金属製もしくはPOM、PP、AS等の樹脂製のものが採用でき、前記外装体内壁とリング状部材の羽部との関係は、凹凸関係が逆に、外装体側に内方突部、リング状部材側に溝を形成しても良い。

【0010】

【発明の効果】以上の通り、本発明は、極力外觀を変化させることなく筆記具の重心位置を変化させることにより、筆記の際の使用感を良好にすることができるものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】一例を示す断面図。

【図2】他の一例を示す断面図。

【図3】変形例を示す断面図。

【符号の説明】

1 ペン先

2 外装体

2a 溝

3、3' 尾栓

\* 4 インキ収容管

4a 雄螺旋部

5、5' リング状部材

5a 雌螺旋部

3'a 雄螺旋部

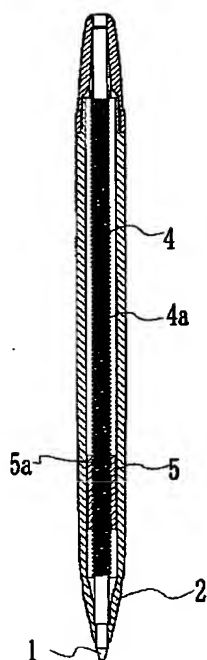
3'b 延在部

5'b 羽部

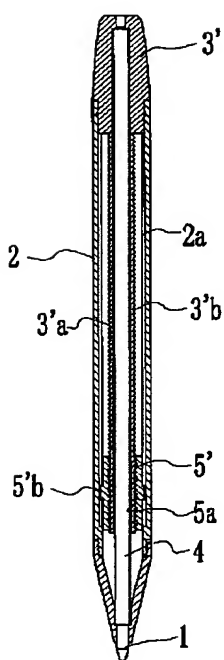
6 先金

\* 6a 延在部

【図1】



【図2】



【図3】

